

第7回 西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会 会議録

議 事 の 経 過		
発言者	発言の内容	(敬称略)
会長	<p>■ 開会</p> <p>本日はご多忙のところご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今から「第7回西京区・洛西地区の新たな活性化懇談会」を開催いたします。</p> <p>はじめに、委員の交代が行われますのでご紹介いたします。高畷委員に代わり、新たに京都市立芸術大学事務局長に就任されました荒木様と、八木委員に代わり、新たに京都大学工学研究科総務課長に就任されました渡邊様に懇談会委員にご就任いただいております。</p> <p>それぞれ一言ご挨拶をお願いします。</p>	
委員	<p>この4月の人事異動で、京都市立芸術大学の事務局長として参りました荒木です。前任の高畷同様、よろしく願いいたします。</p>	
委員	<p>4月に前任の八木から京都大学工学研究科の総務課長に就任しました渡邊です。第7回目からの参加となりますが、これからよろしく願いいたします。</p>	
会長	<p>なお、入木田委員、高田委員、及び安枝委員におかれましては所用のため欠席との連絡を頂いております。</p> <p>続いて、議事に入る前に、事務局から1点報告及び依頼がありますので、お願いします。</p>	
事務局	<p>◆ 委員の任期について</p> <p>さて、事務局からの報告は、委員の任期についてです。現委員の任期については平成28年6月30日までとなっておりますが、当懇談会では今年度中に活性化ビジョンをとりまとめることとしており、継続した議論を行うためにも、各委員の皆様におかれましては、是非とも引き続き懇談会委員に再任いただきたいと考えております。</p> <p>なお、新たな任期につきましては、活性化ビジョンのとりまとめを1つの区切りとするため、一旦今年度いっぱいとさせていただきたいと考えております。何卒、よろしく願いいたします。</p>	
会長	<p>ただ今、事務局から報告がありました委員再任の件ですが、いかがでしょうか。私としましても、今年は活性化ビジョンをとりまとめる大事な1年になる</p>	

事務局	<p>と考えておりますので、是非、引き続き委員の皆様のご協力をいただきたいと思います。途中で代わるとつながりができなくなりますので、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。（反対意見なし）</p> <p>それでは、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、後程、委員再任に係る関係書類をお渡しいたしますので、必要事項をご記入のうえ一緒にお渡しする返信用封筒で返送していただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からの報告は以上です。</p>
会長	<p>■ 議事</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>本日は議題1として、先日、市長に対して私と片山委員で中間報告を行ってまいりましたので、その報告をさせていただきます。</p> <p>次に議題2として、今年度のスケジュールも含めた取組内容について、議題3として、活性化ビジョンの位置づけや第6回活性化懇談会で議論していただいた活性化ビジョンの柱立て(案)について、事務局で作成していただいた、前回の議論を踏まえた修正案についてさらに議論を深めたいと思います。</p>
会長	<p>1 中間報告について</p> <p>それではまず、私の方から中間報告の結果について報告いたします。</p> <p>平成28年6月1日の午後4時～4時半までの30分間、市役所市長応接室において報告を行いました。</p> <p>市長からは「懇談会では丁寧な議論を積み重ねていただいている」と評価していただきました。市長も内容をしっかりと見ていただいております、お褒めを頂いたことを嬉しく思っております。</p> <p>また、市長からは「西京区は阪急やJRの駅、第二外環でポテンシャルが高まっており、このような魅力を最大限に活かして、いかに課題を乗り越えるかが重要」との発言もありました。</p> <p>そして「洛西ニュータウンの良さをもっとPRしていくとともに、阪急の高架下プロジェクトや大原野の地域ブランドの取組など、これから動き出す様々な取組を西京区全体の視点でつなげることで西京区の将来像としてのビジョンを明確にしてほしい」と激励されました。さらに「ニュータウンだけの問題ではなく、西京区全体の問題として捉えてほしい」ということでした。</p> <p>片山委員からは何かありませんか。</p>

委員	<p>市長が言われたように、西京区の発展のために、ニュータウンの近くに鉄道網が2本整備され、それによってかなり流れが変わりました。最初に入居した私たちの子ども世代が40代になって、少しずつこのまちの良さを認めて帰って来てくれている部分がありますので、その辺りで若い世代が定住できるような新たな形、子育てしやすい形の話をしていただきました。</p> <p>また、ニュータウン内は白杖を持った方が多いので、白杖を持った方も安心して1人で歩けるまちは、高齢者も子ども連れの世代も、若いも若きも皆が安心して歩けるまちであることをアピールし、理解していただけるように話をさせていただきました。</p> <p>市庁舎内においても、洛西ニュータウンをあまりご存知ではない若い世代に是非ニュータウンを見ていただいて、西京区がどのようなところなのかということのを再認識していただける形があるとよいという話もいたしました。</p>
会長	<p>私も、公共交通機関がしっかりとできることが、高齢者の引きこもり等の解消にもなり、また健康で長生きする1つの基本になるのではないかという話をさせていただきました。</p> <p>ただ、今は高齢者の問題だけではなく、車社会の中で免許を取得しない若い人が出てきており、そういう中では若い人が引きこもる等、外とのコミュニケーションができない形が増えているのではないかと思います。そういう面からも、きちんと公共交通機関が整備されたまちづくりをしていかなければならないと思います。実は、今も西京区で市バスが走っていないエリアが何ヶ所もありますので、そのカバーも考えなければなりません。極端な話では、LRT的なものをニュータウンやこちらの方に向けて整備できないかという話もさせていただきました。</p> <p>やはり、キーワードの1つは、新しい切り口としての観光だと思います。観光だけで儲けるのではなく、1つの切り口としての観光も大事ではないかという話もいたしました。市長からも「西京には観光協会がないので、何とかしてほしい」と言われたくらいです。やはり自然をはじめとして素晴らしい資源があるので、それを大いに利用する形で、これからの西京が西京らしく発展できればと思っています。そのような話でまとまったと思います。議題1については以上です。</p> <p>2 今年度の取組内容について</p>
会長	<p>続いて、議題2の今年度の取組内容について、事務局より説明をお願いします</p>

事務局	す。 (資料2について説明)
会長	今年度の取組について、ご意見はありませんか。 自治連合会や各種団体、意見交換会の各実施団体にも今までの内容を説明することになっています。また、議員の方々にも内容を知っていただくために、何らかの形でお伝えする方法を考えたいと思っています。それにより、同じ情報をすべての人が共有し、共に前向きに進んでいきたいと思っています。
委員	円卓会議を2回開催していますが、1回は一般公募で行ったと思います。そういう人たちには声を掛けないのでしょうか。
会長	自治連等の関係ではなかったでしょうか。
委員	私は数人の友人を一般の形で呼んだのですが、そのような1度でもテーブルについて人たちにも声掛けだけはした方がよいと思います。来るか来ないかは本人の選択になると思いますが、円卓会議を開いてビジョンを出して、何も報告しないのは一番よくないと思うので、出席が分かる範囲だけでも声掛けだけはされた方がよいと思います。
事務局	第2回の円卓会議に一般の方が来られていますので、こちらで分かる範囲で資料を郵送したいと思います。
会長	確かに、学生の方々も参加されていましたので、携わった方にはお示した方が良いでしょう。
委員	学生が来て発言してくれたので、来られるかどうかは分かりませんが、一応声掛けはした方がよいと思います。
会長	他には何かございませんか。(意見等、なし)
会長	3 活性化ビジョンについて それでは、引き続き、議題3について事務局から説明をお願いします。

事務局	<p>◆ 活性化ビジョンの位置づけと冊子の構成案について (資料3について説明)</p>
会長	<p>「活性化ビジョンの位置づけ」と「活性化ビジョン冊子の構成案」について、ご意見はございませんか。</p> <p>活性化ビジョンは、このような形で西京区制40周年から50周年に向けて、大事なものとしていきたいと考えています。</p> <p>他にご意見がなければ、活性化ビジョンの柱立てについて、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>◆ 活性化ビジョンの柱立て（案）について (資料4について説明)</p>
会長	<p>ただ今説明がありました「活性化ビジョンの柱立て(案)」について、ご意見はございませんか。</p>
委員	<p>◆ 人を呼ぶきっかけづくりと、そのための交通整備の問題について</p> <p>ニュータウンを知らない人がいるという話がありましたので、ニュータウンを訪れてくれるきっかけづくりを考えなければならないと思っていました。</p> <p>例えば、先日、箕面の彩都を友人と訪れたのですが、行こうと思った理由は、彩都に新しい暮らし方や、若い人たちが行きたいと思うようなグリーンとキッチン兼ね備えた、子ども連れでも楽しめるエリアがあるからです。そこは大きなログハウスがあって、子どもも大いに遊べますし、転んでも怪我をしないような、そういうところで子どもと遊んで、キッチンで食事をして、まちを楽しむことができます。そこには美味しいパン屋があって、多くの若い人たちが来店しているという風景があります。実は、それを見ていると、30～40年ほど前の洛西ニュータウンの風景を思い出すような印象がありました。</p> <p>申し上げたかったのは、ニュータウンに一度行ってみたいと思い、実際に行ってみて「ここは暮らしやすそうだ」と思ってもらうことが大事だということです。先ほどいろいろなキーワードがありましたが、例えば「生物多様性」という点では、ここに来ると知らない生物が見られたり、そこで遊べたりするということで、それをきっかけに人が来ることを考えて、そういうきっかけになるようなものがないかと思っています。</p> <p>確かに、自然は豊かで、緑道もありますし、子育て中の母親たちも安心して</p>

<p>会長</p>	<p>歩けるという特徴もありますが、それだけで人に来てもらうというのは訴求点として弱いのではないかと思います。せっかく今、このように良い内容をまとめていただいているので、観光を切り口にする方法もあると思いますが、そのような点も考えていかなければならないのではないかと思います。</p> <p>また、前回の議事録を読んで、良い点を指摘されたと思ったところがきちんと入れられているので、違和感はありませんでした。</p> <p>西京にいて、これが当たり前とされているところがあると思いますが、それだけではなく、もう少し分かりやすく感じられるようにすれば、もっと良さが実感できるのではないかと思います。少しアクションがないのは事実です。いつものように西京で暮らしていると当たり前に感じてしまいがちですが、見方を変えると違う形のものが見えてくるのではないかと思いますし、そのためには何かが必要ではないかという気がします。他の方はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>よくまとめていただいたと思います。いろいろな課題の中で、今後は高齢者と若い世代の方々にとっていかに住みよいまちができるかが一番の課題だと思っています。そういう点で見ますと、高齢者が増加する中で、桂坂口から西側はバスが通っていません。私が子どもの頃は市バスが通っていましたが、そういうコミュニティ路線を作らなければならないと思います。</p> <p>高齢者の車の運転は危険なので、免許を返納される人が増えていますが、そうすると病院に行くにも買い物に行くにも足の便が悪いので、タクシーを利用しなければならなくなっているようです。したがって、全体のコミュニティ交通を早く実現していただきたいと思います。ニュータウンに来る電車の問題もなかなか解決されないの、市バスだけではなく、もっと利便性が良くなればよいと思います。</p> <p>今は楽しい遊びの要素が昔に比べて少ないように思います。昔は小学校の中に自由に入れましたが、今は安全対策で門が閉じていますし、一部限られた人だけがグラウンドに入れるという状況です。そうになると、大枝には公園がないので、子どもたちが外で遊ぶ場所がありません。私が子どもの頃は田んぼで遊んで怒られたりしましたが、今の子どもたちが田んぼで遊ぶ姿は見られません。最近、学校の授業で田んぼの生物を見に行く等、学校で自然について教えているようですが、そういう意味では、大枝や大原野は自然が豊かなので十分な環境があると思います。</p> <p>そういう中で、もっと楽しいまち、楽しい西京区にできると良いと思います。昔が良かったというわけではないので、今の時代に沿った形で、もっと西京区</p>

	<p>へ多くの方が来られるようになればよいと思います。私たちは中京区や下京区等の繁華街へ出て行きますが、中心部に住んでいる方は西京区に來られたことがなくて、どのようなまちなのかを知らない方がまだ多いと思いますので、そういう方々にいかにして西京区に來ていただくかというのが今後の課題だと思います。嵐山などの観光地には多くの方が行かれますが、洛西ニュータウンの方には、一部、柿狩りなどに來られるだけで、ほとんどが來られないと思いますので、もっと昔のように楽しく、自由に遊べるような形ができればよいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>高齢化問題は一番大きな問題ですが、これからは若い人のことを考えなければなりません。乗り物がなければ、若い人も外に出られなくなるので、そういう部分も注意しなければならないと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ビジョンは分かりやすくまとまってきたと思います。大原野のことも書いていただいて嬉しいのですが、昨日もイベントの打合せをしていた中で、移動手段がネックとなりました。イベントの時だけシャトルバスを考えようとしても、予算がつかない等の問題があります。歩いて回ってもらうために車での來場をお断りしているの、バスをいかに利用できるかということが重要になります。</p> <p>一方で、私もほとんど車で移動しているので、洛西ニュータウンのバス交通が便利になっていること自体も分かっていませんでした。昔の感覚とは違って、内回り、外回り等もあるので、バスがどれだけ便利になったかということ、を地域住民にももっとアピールした方がよいと思います。大原野と洛西ニュータウンの間を往復する市バスも、子どもが乗るようになって初めて気づいたので、いろいろな人にこれだけの交通手段が地元にあることを知っていただきたいし、それを対外的にも訴えられるよう、何かの術として持てるようにしなければならないのではないかと考えています。</p> <p>また、遊べる場所として森林公園などはとても良いのですが、アピールしたくてもどのようにして行けばよいかというアクセスの問題があって、なかなかアピールできません。ただ、あそこは一年を通した希少植物の宝庫なので、昔はそれを守るためにアピールしませんでした。今はそうではなくて、アピールして、皆に知ってもらって守っていかなければならないという段階に入っています。</p> <p>そういう中で、すぐ傍の小塩山にカタクリの花があるのに、大原野の子どもでさえそれを知りません。以前は境谷小学校が課外授業で行っていましたが、</p>

<p>会長</p>	<p>それも今はなくなっています。そのように身近なところから少し離れたところにもいろいろなものがあるので、それをいかにアピールするかということと、同時に交通手段を考えることが課題ではないかと思います。</p> <p>確かに交通手段は難しい問題だと思います。今年、区制40周年事業でギネス記録に挑戦することになっていますが、4,000人を集めるための交通手段の確保が問題であり、それを考えても、交通の問題は大きいと痛切に感じています。例えば、大原野学区から桂中学に行こうとすると、直通のバスもありませんし、どうしたらよいのかと頭を痛めている状態です。これは他も同じで、桂坂からも行く路線がありません。</p> <p>西京は桂駅や桂川駅、洛西口駅等のターミナルに行く路線はあっても、それ以外のところに行こうとするといずれかを經由して迂回しなければなりません。そういういろいろな難しい問題を抱えていることが、40周年を迎えて認識されています。</p> <p>それから、1つ気付いたのですが、①のつながりを示す図では、地理的な要素を踏まえたつながりとして「南区，向日市，亀岡市，長岡京市」が挙げられていますが、地図の中に亀岡市が描かれておらず、このままでは見た人が分からなくなるので、亀岡市を入れていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>右京区も入れた方がよいのではないのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>気になったので修正をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>◆ 柱立てのキーワードと意見整理のプロセスについて</p> <p>活性化ビジョンの柱立ての案として分かりやすく整理されたと思います。内容については、今後、議論が出てくると思いますが、「つながり」「魅力」「暮らし」というキーワードは、ある意味で当然の話ではあるものの、ここを切り口として具体的なプランがいろいろな方の意見として集まってくるように整理されたと思います。</p> <p>私もこの懇談会に参加させていただき、一方で、西京区で産業振興の仕事をしている関係からも、これにどのような形でアクセスするかということを考えられる方向性を示されたと感じています。</p>
<p>委員</p>	<p>今までたくさん話した内容を、このようにまとめていただいて感謝します。ただ、せっかくですから、暗記して言えるくらいのキーワードに収める方が</p>

	<p>伝えやすいと思うので、「つながりを育てる」「しごとを育てる」「暮らしを育てる」として、その中で、まち・人がどうなのか、玄関口がどうなのかということサブタイトルにした方がよいのではないかと思います。</p> <p>それによって、私たちは頭の中で「つながり」というキーワードが出てくるとどこに入るのかを判断できます。例えば、委員が言われたきっかけづくりや企画でも、「この企画は3つの中のこれ」というように、皆さんから出てきた意見がどの柱になるかということが明確になると、これから意見を伺う時に整理ができて、さらに皆さんの意見の收拾に役立てられると思います。</p> <p>私の持論にプロジェクト、プログラム、プロフェッショナルの「3つのプロ」があります。つまり、いろいろなことを企画する中で、それを進めていくために具体的にどうするかという計画があって、そして、それを実現するために、プロフェッショナルという狭い意味になりますが、実現に向けた行動に動かしていくという、そういうことがそれぞれの柱の中でできることによって、いろいろな活性化が実現に向かっていくのではないかと思います。</p> <p>そのように皆さんの意見が出たら上手く整理できるように考えるのが、私たちの役割ではないかと改めて感じています。また、高島屋の店長の方にも、皆さんから注目されるようなキャッチコピーや企画を参考にアドバイスを頂けるのではないかと思います。</p>
委員	<p>ご指摘のとおり、キャッチフレーズは短い方が分かりやすいと思います。</p> <p>また、確かに、西京としてのフレーズは欲しいですね。今は思いつきませんが、考えたいと思います。</p>
会長	<p>委員の話にあったように、プロセスは大事だと思いますので、プロセスを一般の人にも見えるようにしていかなければなりません。最後にまとめたものだけを示すと、それまでいろいろと出された細かい意見が消えて見えなくなってしまいます。その細かい部分を見せながら、その間に皆に知ってもらうことが大事ではないかと思います。当然、最終はきちんとしたものを作り上げなければなりません。そこに行くまでの間の委員の皆さんとの議論、そして地域の人たちに報告する中で頂くいろいろな話など、そういうプロセスを大事にしていくことが一番重要ではないかと思います。</p> <p>我々も高齢化しますし、50周年の時は私も80歳になりますので、プロセスを大事にして、皆に共通意識を持っていただくことで、我々だけではなく、次の世代を担う人がその方向性で進んでいただけるのではないかと思います。</p>

委員	<p>◆ 不便なイメージの払拭について</p> <p>街なかの人から「洛西にはどうやって行くのか」と訊かれます。実際は、桂駅からバスに乗ると15分くらいで着くので、決して不便ではないと思いますが、どうしても「洛西地域は不便」という印象が皆の中にあるようです。</p> <p>また、ニュータウンというと、やはり住むところであって、訪れるというイメージを持たれません。いろいろなイベントを行われていますが、恐らく近くの方が来られていて、中心部の人あまり来ていないのではないのでしょうか。</p> <p>バスの問題も先ほどから出ていますが、芸大前には京都市バスが通っておらず、京阪交通が通っています。市バスと阪急バスもあり、どれに乗ればよいのか分かり難いという問題もあります。やはり、他所から来ていただくという視点からは、そういうところからイメージを払拭することが大事だと思います。</p>
会長	<p>新しく入られた方にはまた違った視点で意見を出していただけるので有難いですし、大事なことだと思います。</p>
委員	<p>◆ 人が集まる公園の整備と、「ニュータウン」のマイナスイメージについて</p> <p>公共交通機関については私も気になります。JRで京大の桂キャンパスまで行くにはバスが30分に1本しかないという状況なので、それも問題だと思います。</p> <p>一方、京大桂キャンパスの中の公園には子ども連れの方が来られていて、レストランなども賑わっています。先ほど、彩都の公園の中にいろいろなエリアがあるという話がありましたが、そのようなスポットがこの地域にあっても良いのではないかと思います。お金をかけるのは難しい面があるかもしれませんが、子育て世代を中心とした若い人たちのことを考えますと、例えば、山城総合運動公園にはたくさんの方が来ているようですし、公園の中にどのようなものがあるかは人が来るかどうかに関わりますので、図書館や遊具等、お金をかけない範囲で整備すれば人を呼べるのではないかと思います。</p> <p>また、私の世代は「ニュータウン」という言葉に古いイメージがあるので、思い切って名前をアレンジできるとイメージが変わるのではないかと思います。大阪の「千里ニュータウン」も愛知の「高蔵寺ニュータウン」も、どの地域でも私の世代は「あそこには住みたくない」と言って憧れることはありません。名前に囚われているところがあるので、ニュータウンを全面に出すと、いくら改装しても、若い人が来ないのではないかと感じています。</p>
会長	<p>また違う切り口を出していただき、ありがとうございます。</p>

委員	<p>◆ ダイナミックなまちづくりにおける柱の位置づけについて</p> <p>委員が言われた「ニュータウン」の名前を変えたらどうかというのは、最初の頃に議論がありましたが、やはり「ニュータウンでいいのではないか」という意見もあるなど、人それぞれではないかと思います。</p> <p>そういう意味では、今、ニュータウンのポスターに「Reニュータウン」と書かれており、逆手にとって、そういう名前でPRしようとしています。やはり、市長も言われていますが、伝える力の問題で、どういう生活をしているか、どういうことが西京区で起こっているかということを、行政としてもあまり発信できていなかったと思います。</p> <p>ニュータウンについては、都市計画局と一緒にアクションプログラムを作ったり、以前から大原野の方とは地域ブランド戦略を作ったり、向日市と共同イベントを行ったりしています。それに今度は、桂のエリアから洛西口までの阪急の高架下をどのように活用するかという大きなプロジェクトが動き出しており、実は、西京区はダイナミックなまちづくりが、嵐山、桂、ニュータウンを通して大原野、さらにいろいろな地域まで広がっていきこうとしています。その最中にこの活性化のビジョンができるということですので、例えば、夜の賑わいをつくるためのイベントを考える等の具体的な動きが出てくる時に、こういう流れの中で、ビジョンの3つの柱が基本となる考え方としてまとまっていくのは、指針ができて有難いと思っています。</p>
委員	<p>今、西京区には大きなチャンスが到来していると思っています。ニュータウンのアクションプログラムもそうですし、駅間プロジェクトも大きな装置になると思いますので、そこにどのようなものを入れていくかが重要になると思います。例えば、駅間プロジェクトであれば高架下で何をするかということだけではなく、そこからつながってさらに西に広がる、あるいは南区や近隣市町村とつながるようなことがいろいろと考えられるのではないかと思います。つながりを示す図に南区や向日市を入れたのもそういう意味があります。</p> <p>実は、中間報告の時に、南区の子育て中の母親が洛西の保健センターに相談に来るという話を伺ったのですが、それはバス路線が新しくできたことによるものなので、そういうことで人の流れが変わると再認識しました。ですから、区内だけではなく、区外からの人の流れもつくることを考えると、そこに阪急やJRという都市の大きなインフラが通っていることは最大限に活かせると思いますので、是非とも、ニュータウンのアクションプログラムを作るにしても、駅間プロジェクトでいろいろと議論していただくにしても、そういう視点でダ</p>

<p>会長</p>	<p>イナミックに企画を検討していただけると有難いと思います。</p> <p>◆ 地域特性を活かしながら西京区を一体として捉える</p> <p>最近、特に感じているのは、「農業は大原野、大枝」と結び付けられていますが、そうではなくて、西京区全体で捉えなければならないということです。「農業は大原野」と言ってしまうと、そこに溝ができてしまいます。極端に言うと、ニュータウンの話や、西京区自体が行政的に本所と支所があるので仕方ないのですが、そこにまた溝ができてしまいます。そうではなくて、西京区全体を考えなければ、間違った形になってしまうのではないかと思います。</p> <p>皆、それぞれ特性は違うのですが、だからと言って分けてしまうとバラバラになってしまうのではないかという危機感がありますので、できるだけ西京全体という捉え方をしなければならないと思います。もちろん、皆を同じにしては面白くないし、特性のある地域は伸びる可能性が大いにあると思いますので、個々の特性の良いところは活かして伸ばさなければならないと思いますが、捉え方としては、西京区一本で考えなければならないのではないかと危惧しています。</p>
<p>委員</p>	<p>そのように思います。我々がNPOとして考えていたのは、大山崎まで含めた乙訓地区と言われていたところと、洛西口付近は1つの大きな生活ゾーンで、ビジネスとしても大きなエリアと捉えています。行政が勝手にこれを区切っているだけなので、我々の活動の中では一体として捉えようと言っています。実際の活動は大原野のニュータウンの近辺で行っていますが、そういう意識はかなり芽生えてきたと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>地域特性は大事にしなければならない部分がありますが、あまりそればかりに固執してしまうと、歪んでしまうところがあるのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>地域特性とは、行政で区切った中のある一角の特性ということではないので、乙訓というようにもう少し広げて、地域の特性という捉え方にしていくべきだろうと思います。そうすると、向日市の人とのネットワークもないし、話もできない等の問題がいろいろと出てくると思うので、そこを作っていくことに少しずつ取り組もうとしているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見はございませんか。</p>

<p>委員</p>	<p>◆ 周辺地域とのつながりと行政と市民の協働による活性化について</p> <p>活性化懇談会で何度か議論した内容をとても良くまとめていただき、活性化ビジョンの柱立て(案)は皆さんのいろいろな意見が良い形で凝縮されたものになっていると思います。</p> <p>活性化懇談会でこのような案を作っていただいている中で、行政も子育て支援において、桂やニュータウンだけではなく、向日市や長岡京市等と一緒に子育て支援をしようというスタンプラリーを今年度から始める等、周辺地域とのつながりを考えるような活動を実際にされています。そういう意味で、たくさんの方が子育て支援のところに来られたという実感がありますので、行政としては意見を汲み上げて、それぞれの子育て支援のところでのつながりの持ち方や、高齢者のためのつながりの持ち方も、意見を取り入れながら徐々に動いていただいているのが目に見えて分かっています。</p> <p>その上にいろいろな形でもう少し肉付けができて、結局は住民が楽しく住めるようなところであれば、人は勝手に集まってくるのではないかと、亀岡市からも向日市からも皆さんに来ていただけるのではないかと思います。何も京都市の真ん中から来ていただくということではなくて、周辺地域を取り込んだ形でそこが注目されていくと、また違った形で市内からの人の流れも出てくる等、いろいろなことが出てくると思います。</p> <p>この活性化懇談会のお蔭で、行政の方にもいろいろな形で動いていただけて、素晴らしいことにつながっているのです、私としてはこの懇談会の中に入れていただいて、活動した甲斐があったと思いますし、あのような形で行政が動いていただけると思っていなかったのが本当に良かったと思っています。今後ますます協働の活動を作っていけるような活性化懇談会であってほしいと思います。それが10年後につながって、より良いものとして、若い人たちにも理解されるものになれば、それが一番素晴らしいのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>西京区の基本計画と違って、活性化懇談会の中身は我々の地域力を強める、または素晴らしい魅力を出していくために「自分たちはこういうことをしよう」「行政と一緒にやってこういう形でやっいていこう」という1つの指針になってくれたら有難いと思いますし、それを「西京区は地域力がある」と言われる形に持っていけたら一番有難いと思います。</p> <p>今は特に安全・安心の問題が言われていますが、西京区が1つになって、皆が動いて犯罪も少ないまちと言われるような取組が進んでいけば、安全・安心なところに人は行きますので、1つの方向が出てくるのではないかと思います。わざわざ安全・安心を打ち出さなくても当然のことになるように、皆さんの地</p>

委員	<p>域力ができ上がっていくと素晴らしいと思います。</p> <p>これからは若い人にバトンタッチをしていかなければなりません、西京区の基本計画も10年のスパンになっていますので、活性化ビジョンはちょうどその間の年度にあって、互いに5年おきに見ていけるという捉え方もできるのではないかと思います。</p> <p>◆ 芸大跡地の活用問題について</p> <p>7月～8月に住民意見聴取がありますが、その中では、ここでは触れていない芸大跡地の活用についての意見も出てくると思います。検討会議等では意見を出されていた人もいますし、ここでの検討は難しいと思いますが、どうしていくかということはある程度は考えなければならないかもしれません。</p>
会長	<p>何が必要なのか、現在に何をプラスすれば西京区が良くなるのかという中で、そのための1つとして芸大跡地の問題も考えなければならないと思います。芸大跡地の活用によって人が集まりやすくなる等、そういうスタイルも考えなければならないかもしれません。</p> <p>先ほど委員が言われた、彩都の魅力的なエリアのような、それによって若い人がそこに集まって来るようなものも考えなければならなりません。それは何が良いかは、これから考えていかなければならないことだと思います。</p> <p>跡地活用の検討については、この3年間を経て次のステップの部分だと思います。</p>
委員	<p>◆ 西京らしさのプロモーションについて</p> <p>このビジョンをベースとして次に何をしていくのかということが重要であり、何もかもできればよいと思いますが、優先順位や限られた資源の中で何を選択していくかという話になると思います。</p> <p>個人的な感想になりますが、「西京ライフ」というキーワードがあるように、西京らしさをどのような形で打ち出すのか、西京区だけではなく、京都あるいは京都以外の地域に「京都に西京がある」ということをどのようにプロモーションしていくのか、積極的に宣伝広告を行った方がよいと思います。</p>
会長	<p>確かに「西京(にしきょう)」という言葉をごだけ外に発信できるかということが課題です。キャラクターの「にしきょう・たけによん」も「西京(にしきょう)」という言葉を知ってもらおうというのが1つの大きな目的であり、どうしても他所から来られた人に「さいきょう」と言われて、「違います。にし</p>

委員	<p>きょうです」と念を押さなければならないという意味では、まだまだ認知が弱いと思いますので、「西京(にしきょう)」をしっかりとアピールすることも大事だと思っています。</p> <p>◆ 近隣とのつながりと「便利な田舎」のある場所として</p> <p>先ほど委員が言われたように、近隣とのつながりが大事だと考えています。まちづくりに関わるようになったきっかけは、乙訓青年会議所で大山崎、向日市までをエリアとした旧乙訓郡で大原野・洛西地域のメンバーに入ったことなので、ようやく今まで活動してきた、自分が一番仲の良い先輩方がいる地域と手をつなげるようになってきたと感じていますし、人と人のマッチングはしやすくなるのではないかと考えています。</p> <p>大原野に特化して言いますと、「なんやかんや大原野」で大原野をどのように売り出すかという時に「便利な田舎」というキーワードが出ていたので、活性化の中でも「大原野は便利な田舎」で「西京は便利な田舎を持った場所」という売り方もあるのではないかと感じています。</p>
会長	<p>そのまま頂いて「西京は便利な田舎」と言うことになるかもしれません。</p>
委員	<p>そこまで言うなら「私たちは違う」というところも出てくるかもしれませんが、そのキーワードは気に入っていて、面白いと思っています。今までは「田舎」というマイナスイメージがありましたが、違うイメージで出せると考えています。</p>
委員	<p>◆ 3つのキーワードについて</p> <p>先ほどの委員の意見に関連して、基本的な言葉はこれで良いと理解していますが、この中で「」で色分けした「つながり」「しごと」「暮らし」という言葉の「」の位置を変えてはどうかと思います。つまり「つながりを育てる」「しごとを育てる」「暮らしを育てる」という部分をそれぞれの文の中でクローズアップすると分かりやすくなると思います。そうすると、話している間に「」以外の部分がなくなっていくかもしれません。会話の中ではそのような流れも生まれてくるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>◆ 西京のマンパワーについて</p> <p>西京区の良いところと言うと、場所や、ひまわりや野菜等の「もの」に注目されますが、そういう中で、来年度から京都市には子ども育み局が創設されて、ますます子育てについて京都市自体が着目していくという動きがあるので、や</p>

	<p>はり西京のマンパワーも特徴として活かして、そういう人たちが結集できるような良さも出していくことが大事だと思います。</p> <p>私は「ひと・もの・こと」とよく言いますが、場所はものに当たると思いますが、人に着目して、頑張れる人、リーダーになれる人、サポートできる人というように「西京の中にはこういう素晴らしい人がいる」ということもアピールできると良いと思います。</p>
会長	<p>なかなか大変ですが。</p>
委員	<p>しかし、地域を超えた人材・活動のつながりができていないことが課題となっているので、今後はそれをどのようにつなげていくかという取組が必要になると思います。</p>
委員	<p>人も資源として考えるということでしょうか。</p>
委員	<p>それぞれが出し合えば、いろいろな人材が出てくると思います。</p>
委員	<p>西京区役所も洛西支所も、いろいろな方と一緒に活動させていただいているものの、そういう方々をつなぐことができていないのではないかと思います。実は、洛西エリアの中や本所エリアの中ではそれができていると思いますが、本所と洛西支所の間のつながりができていないように思います。キーになる人はたくさんおられて、面白い活動を桂駅周辺でされていたり、檜原のまちづくりをされていたりしているので、そういう人たちと大原野の方やニュータウンの方がつながっていただくと、またいろいろなことができるかもしれません。そういう大きなうねりが役所ではできていないので、申し訳ないと感じています。</p>
委員	<p>先日、「洛西ママカフェ」の取組が檜原で開かれたようですが、そこでまたいろいろな人を巻き込む形ができる等、個々にはいろいろと広がっていると思いますので、それをどこかの土俵に上げることが必要だと思います。「こういう人がいる」とか「子育てならこういう人を知っている」という情報をどこかに上げてマッチングしていくことも、もしかするとここの作業ではないかと感じています。声を掛ければ「こういうことをさせてほしい」という人はたくさんいると思います。</p>

委員	<p>桂坂でも大原野でもいろいろと行われています。「たけっこぐんぐんプロジェクト」の活動では民生児童委員の方やNPOの活動もあります。それを上手につないでいないので本当に申し訳ないと思っています。</p>
委員	<p>でも、少しずつつながりが生まれていて、皆さん方がそれぞれでつながっている部分があります。</p>
会長	<p>ただ、無理につなげると必ず何かの問題が出てきますので、難しいところもあります。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>◆ 活性化の波及，拡大に向けて</p> <p>私自身がまだよく知らないところがあるのですが、例えば、嵐山界限・松尾辺りの人たちや上桂付近のエリアの人たちの意見は分からないのでしょうか。</p>
会長	<p>当然、個々にはありますが、エリアがバラバラになっている可能性があります。それを何とかつなぐために西京の中でプロジェクト的に動いていただきたいと思っています。今までは大原野でいろいろなプロジェクトをされていましたが、大原野やニュータウンだけで終わってしまうので、そうではなくて、嵐山や松尾など各地でいろいろなことを打ち出していかなければならないと思っています。</p> <p>それが上手くいったものを区全体で捉えて上手にやっていくことが大切です。ですから、大原野で良い結果が出たら、西京区全体でも行わなければならないと思います。それをどのように変化させるかは別として、嵐山東も松尾だけではなく、川岡東，桂徳，桂川などすべて違うので、上手に個々の中でどのようにすればよいかを考えていかなければなりません。</p> <p>今、心配しているのは、桂川街道ができて、桂川，桂徳，桂東，川岡東に若い人が増えていますが、これから20年，30年経つと洛西と同じような形になるので、その危機感を考えなければならないということです。あそこには人がたくさんいるから放っておいてもよいという話ではありません。その辺りの捉え方が大事だと思っています。</p> <p>実は、嵐山東には市バスが通っていません。皆さんは通っていると思われているかもしれませんが、バスは松尾の橋のところまで東に曲がって嵐山東には行きません。この地域では特に大変なことになっていて、スーパーもなくなって買い物をするところもないので、高齢者はどうすればよいのかという問題があ</p>

	<p>ります。そういうところも考えていかなければなりません。一方で、嵐山に近いので、観光シーズンになると道が混んで表にも出られないくらいになってしまいます。いろいろな難しい課題をたくさん抱えています。災害的にも後ろは山、前は川があっいろいろな問題があります。場所としては歴史もありますし、松尾、嵐山東は寺もたくさんあって風光明媚なところですが、まちが古くて、昔から住んでいる人と新しく移ってきた人が混在しているところですので、いろいろな課題を抱えているのは事実です。</p> <p>そういうところも、新しい形で成功したものを何とか持ち込んで活性化させていきたいと思います。</p>
委員	<p>9月22日に藤袴(フジバカマ)サミットを開催する予定ですが、配布物をどうするかという問題があります。予算的に4,000枚程度しかチラシを刷れないので、大原野は回覧にして、2,000枚をどこにどう告知するかという話で、せめて西の8学区には回覧してもらえるように連合会長にお願いしてもらおうと考えていますが、今はそこで話が止まっています。西京の東の方には告知する術がなく、市民しんぶん西京区版しかないので、8月15日号に載せてもらうのが精一杯ですが、それもどれだけ見てもらえるのか分かりませんし、回覧しても見てもらえるとは限りません。</p> <p>そういう告知の方法も我々が直面している問題なので、どういう方法があるかということもここでも話し合っていていただいて、案を出していただければと思っています。若い人が対象ならSNSを使えば理解してもらえるところもありますが、そうではない人にも来ていただきたいので、そういう人たちに分かってもらえる術を考えていただけたらと思います。</p>
会長	<p>PRはなかなか難しいのですが、せつかく区役所と洛西支所が両方あって、そこに掲示板もありますので、そういうところに告知すると、植物に興味のある人は関心を持っていただけるとと思います。そういうことも1つの例ではないでしょうか。</p> <p>確かに、見せる方法を考えなければならないのは事実です。今の藤袴の件だけではなく、松尾学区でも双葉葵に一生懸命に取り組んでいますが、それは洛西の人には知られていないと思います。そういうことです。一生懸命に取り組んでいるところはそれなりに活動されているのですが、藤袴のようにチョウが来る等の夢のある話ではありません。それでも特有の希少植物である双葉葵を懸命に育てようとしており、それも大事なことだと思います。</p> <p>今年はKBSの関係で双葉葵と藤袴を植えていただき、環境の取組として進め</p>

委員	<p>ていますので、多くの企業が参加されています。そういうこともご存知なかったのではないのでしょうか。</p> <p>それぞれがそれぞれの活動をしているわけです。</p>
会長	<p>それを全体的につないでいかなければならないと思います。その辺りを上手にピックアップしていくことが大事です。どこかで「見える化」しなければならないと思いますので、面白い話があれば、そこだけで埋もれさせてしまわないように、地域の連合会が全体に上げていくことも大事だと思っています。</p> <p>他に意見はございますか。（意見等、なし）</p>
会長	<p>■ 閉会</p> <p>本日は活発な議論をありがとうございました。</p> <p>本日ご議論いただいた内容を踏まえて、事務局の方で修正を加えていただき、今後、自治連等への意見聴取を踏まえて次回の懇談会で活性化ビジョンとして一定の形を示していただければと思います。</p> <p>それでは、これで本日の議題は全て終了しましたので、「第7回西京区・洛西地域の新たな活性化懇談会」を終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>